

テノール **クリストフ・プレガルディエン**

フォルテピアノ &
渡邊 順生

リリック・テノールの
世界的巨匠と
我が国を代表する
フォルテピアノ奏者が
《白鳥の歌》を中心に贈る
シューベルト後期の世界

フランツ・
シューベルト
(1797～1828)

悲しみ
D772 (コリン詩)

別れ
(レルシュタープ詩／《白鳥の歌》D957 第7曲)

セレナード
(レルシュタープ詩／《白鳥の歌》D957 第4曲)

愛の使い
(レルシュタープ詩／《白鳥の歌》D957 第1曲)

秋
D945 (レルシュタープ詩)

遠い地にて
(レルシュタープ詩／《白鳥の歌》D957 第6曲)

すみか
(レルシュタープ詩／《白鳥の歌》D957 第5曲)

戦士の予感
(レルシュタープ詩／《白鳥の歌》D957 第2曲)

美も愛もここにいたことを
D775 (リッケルト詩)

春の憧れ
(レルシュタープ詩／《白鳥の歌》D957 第3曲)

春に
D882 (シュルツェ詩)

私の心に
D860 (シュルツェ詩)

深い悩み
D876 (シュルツェ詩)

ザイルデマンの丘で
D884 (シュルツェ詩)

漁師の娘
(ハイネ詩／《白鳥の歌》D957 第10曲)

海辺にて
(ハイネ詩／《白鳥の歌》D957 第12曲)

都会
(ハイネ詩／《白鳥の歌》D957 第11曲)

影法師
(ハイネ詩／《白鳥の歌》D957 第13曲)

彼女の肖像
(ハイネ詩／《白鳥の歌》D957 第9曲)

アトラス
(ハイネ詩／《白鳥の歌》D957 第8曲)

2026
4/5

[日] 14:30 開場 | 15:00 開演

水戸芸術館コンサートホールATM

料金(全席指定) | 一般 ¥6,000 | U-25(25歳以下) ¥2,000

* U-25 チケットの取扱いは水戸芸術館のみ

チケット発売: 2025年12月20日[土]

財団運営維持会員先行予約: 12月16日[火] *電話・Web 予約のみ

水戸芸術館メンバーズ会員先行予約: 12月17日[水] *電話・Web 予約のみ

主催: 公益財団法人 水戸市芸術振興財団

チケット取り扱い:

水戸芸術館 (9:30～18:00 | 月曜休館)

◎ エントランスホール内チケットカウンター

◎ チケット予約センター TEL.029-231-8000

◎ ウェブ予約 <https://arttowermito.or.jp/ticket/>

e+ (イープラス) [https://eplus.jp/\(PC・携帯\)](https://eplus.jp/(PC・携帯))

かわまた楽器店 TEL.029-226-0351

ヤマハミュージックジャパン水戸店

TEL.029-244-6661 (店頭販売のみ)

水戸芸術館
ART TOWER MITO

30

年前、水戸芸術館でシューベルト《冬の旅》の名唱を聴かせたクリストフ・プレガルディエンが帰ってくる。ドイツ・リート of 伝達者として、またバッハの受難曲のエヴァンゲリストとして世界的な名声をほしいままにしたリリック・テノールは、古希を迎え、シューベルトの遺作となった《白鳥の歌》にあらためて取り組む。我が国を代表するフォルテピアノ奏者であり、ピリオド楽器による演奏の開拓者でもある渡邊順生という、またとないパートナーを得て。

シューベルトの《白鳥の歌》は、作曲者の死後にまとめられた歌曲集であり、連作が意図されたものではない。プレガルディエンと渡邊は、今日一般的となっている曲順を自由に入れ替え、さらに《白鳥の歌》には含まれない歌曲も加え、シューベルトの後期の名歌を独自の視点で編んだプログラムを作った。

シューベルトの後期は、ロマン主義の世界に入り込んでいる。18～19世紀の産業革命により、都市化した社会に疎外された作曲家は、暗闇からほのかに見える希望の光にすがり、歌で夢を綴った。

そして21世紀、この分断の時代。プレガルディエンと渡邊順生がつむぐシューベルトの歌は、現代をさまよう孤独な魂の救済の響きとなって、あたたかな光を放つであろう。



クリストフ・プレガルディエン

(テノール)

Christoph Prégardien, Tenor

「若々しい輝きがありながら、切ない美しさと鋭い洞察に満ちている」(ニューヨーク・タイムズ紙)。クリストフ・プレガルディエンは、世界を代表するリリック・テノールとして、その輝かしい音色、精緻な声のコントロール、そして深い表現力で国際的に高く評価されている。リートの第一人者として、シューベルトティアーデはじめ、世界各地の主要音楽祭やホールに出演。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団等、ダニエル・バレンボイム、ニコラウス・アーノンクール、ケント・ナガノ、ジョン・エリオット・ガーディナーといった名指揮者のもとで共演。オペラでは《魔笛》のタミーノ、《セビリアの理髪師》のアルマヴィーヴァ、《ドン・ジョヴァンニ》のドン・オッターヴィオなどの主要役を演じている。150枚を超える録音では、オルフェ・ドール、ディアパゾン・ドール、グラモフォン誌エディターズ・チョイスなど数々の国際的な賞を受賞。近年は指揮者としても活躍。

水戸芸術館では1996年にリサイタルを行い、アンドレアス・シュタイアー(フォルテピアノ)との共演でシューベルト《冬の旅》を歌った。



渡邊 順生

(フォルテピアノ)

Yoshio Watanabe, Fortepiano

1950年鎌倉に生まれる。チェンバロ、フォルテピアノ、クラヴィコード奏者および指揮者として活躍。2010年度サントリー音楽賞、2024年度毎日芸術賞受賞。一橋大学社会学部卒業。アムステルダム音楽院にてグスタフ・レオンハルトに師事し、ソリスト・ディプロマ及びブリュッヘン、ビルスマ、エルウィス、B・クイケン等、欧米の名演奏家・名歌手等と共演多数。ソニー、コジマ録音等から多数のCDをリリース。2006年及び2016年のレコード・アカデミー賞を受賞。論文、エッセイ等も手がけ、モーツァルト《幻想曲とソナタK.475/457》、《トルコ行進曲付きソナタK.331》の校訂楽譜を刊行(全音楽譜)。著書『チェンバロ・フォルテピアノ』(東京書籍、2000)、『バッハ・古楽・チェロ』(アルテスパブリッシング、2016)も好評を博した。2020年にはドキュメンタリー映画『分子の音色』に出演して注目を浴びた。日本チェンバロ協会会員。

水戸芸術館では1990年の開館記念コンサートシリーズでチェンバロ・リサイタルを行っている。

U-25チケットのご案内(枚数限定)

- 25歳以下の方が対象のお得なチケットです(未就学児不可)。
- ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。
- 当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。

お問合せ：水戸芸術館チケット予約センター

Tel.029-231-8000 | 9:30～18:00(月曜休館)

- 未就学児のご入場はご遠慮ください。
- 公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。
- 公演の内容、曲目等は変更になる場合があります。
- 車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、座席へのスムーズなご案内のため、予約時にお知らせください。

水戸芸術館へのご案内

- JR常磐線水戸駅北口バスターミナル4～7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。
- 〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL:029-227-8111
<https://www.arttowermito.or.jp/>